

令和4年度 全国学力・学習状況調査 調査結果について

4月19日に行われた、6年生の全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

【国語】

ほとんど全ての問題において、全国の平均正答率を上回っていました。特に顕著なものをお伝えします。

- ・「漢字を文の中で正しく使う」「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」などの漢字の定着が良く出来ていました。
- ・書くこと「文章全体の構成や書き表し方などの着目して、文や文章を整える」ことが良く出来ていました。
- ・書くこと「表現の効果を考える」ことを、良く理解していました。
- ・読むこと「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」ことを、大変理解していました。

【算数】

全ての問題において、全国の平均正答率を上回っていました。特に顕著なものをお伝えします。

- ・「二つの数の最小公倍数」を、正しく求めることが良く出来ていました。
- ・「百分率で表された割合を分数で表す」ことが良く出来ていました。
- ・「分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え、考察する」ことが、良く出来ていました。
- ・「目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る」ことが、良く出来ていました。
- ・「図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方」について、良く理解できていました。

【理科】

ほとんど全ての問題において、全国の平均正答率を上回っていました。特に顕著なものをお伝えします。

- ・「昆虫の体のつくり」について、良く理解していました。
- ・「水溶液の凍り方について、実験の結果を基に自分の考えをもち、その内容を記述する」ことが、良く出来ていました。
- ・「冬の天気と気温の変化について、観察結果を解釈して、自分の考えをもつ」ことが、良く出来ていました。

【生活面】

「自分にはよいところがある」「学校に行くのは楽しい」と答えている子どもが明らかに多く、充実した学校生活をおくっている姿がうかがえます。また、「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか」との設問には、「よくしている」の割合が高く、伸び伸びと生活していることが分かりました。

「やると決めたことは、やり遂げるようにしている」「人の役に立つ人間になりたい」との設問に、全国平均と比べて、高い割合で肯定していました。

「家で自分で計画を立てて勉強していますか」との設問には、「よくしている」と「あまりしていない」の割合が高く、二極化している傾向があることが読み取れます。

「授業で、P C・タブレット機器の活用」を問う設問では、全国平均より「多く活用していた」と答えていました。また、「授業で、自分の考えをまとめる活動を行っていた」「作品や作文などの新しいものを作り出す活動を行っていた」との割合も高く、5年生の時からI C T機器を活用し、自分の考えを伸ばしてきたことが分かりました。

こうした結果を踏まえ、家庭と連携をとりながら、中学校生活も見据えて、自分で計画をたてて学習に取り組んでいける習慣が身に付くように支援していきます。